

保護者様

横浜市立さわの里小学校

校長 後藤 俊哉

平成 30 年度 全国学力・学習状況調査について

4 月に実施した「平成 30 年度全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省より提供されました。この調査結果をもとに、今後の学習指導に生かしていきたいと思えます。

○各区分の結果と分析、今後の取組

	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	理科
本校	60	48	53	41	48
横浜市	73	56	66	54	61
神奈川県	70	54	64	52	60
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3
通過率(%)	84.9	87.8	83.5	79.6	79.7

〈 国 語 〉

〈国語〉	国語 A (主に知識)				国語 B (主に活用)			
	本校	神奈川県	全国	通過率	本校	神奈川県	全国	通過率
話すこと・聞くこと	75.6	91.0	90.8	83.3	54.8	65.0	64.6	84.8
書くこと	66.7	74.3	73.8	90.4	41.8	44.2	45.6	91.7
読むこと	56.7	74.5	74.0	76.6	42.2	48.8	50.8	83.1
伝道的な言語文化と国語の特質に関する事項	58.1	66.1	67.0	86.7				

どの領域に関しても、全国や県の平均よりも下回る結果となりました。国語 A (主に知識) の領域で平均を下回ったことは、大変残念な結果であるといえます。しかし、「書くこと」では、比較的平均に近い数値を示しました。学習の中で、課題について考えたことをノートやワークシートに整理して書かせる活動を多く取り入れたことの成果が出てきていると感じられます。国語 B (主に活用) は、記述式で解答していく設問が多いが、国語 A に比べて通過率が高い。少しずつではありますが、自分の考えを筋道を立てて表現することができてきている子が多くなってきていると思えます。

〈 算 数 〉

〈算数〉	算数 A (主に知識)				算数 B (主に活用)			
	本校	神奈川県	全国	通過率	本校	神奈川県	全国	通過率
数と計算	51.6	51.6	62.3	82.8	43.7	58.2	58.4	74.8
量と測定	62.8	71.7	72.7	86.4	38.3	52.6	52.4	73.1
図形	45.9	57.1	56.9	80.7	56.7	60.1	59.9	94.7
数量関係	49.8	61.0	60.1	82.9	33.8	45.7	45.1	74.9

国語と同様、算数 A も B も全国や県の平均よりも下回る結果となりました。しかし、算数 B の「図形」については、県や全国の平均に近い数値を示しています。これは、日常生活の事象を図形の構成要素や性質をもとに観察し、図形を判断したり、論理的に考察したりする能力です。敷き詰めた図形から条件に合う図形

の面積求めたり、平均の考え方を使って、情報を処理したりする能力のことで、図から情報を直感的に感じ取ったり、閃いたりする能力は決して低くはありません。ただし、全体的には、基礎的な部分の習熟が不十分であることが如実に表れた結果となりました。

〈 理 科 〉

〈理科〉	理科			
	本校	神奈川県	全国	通過率
物質	47.8	59.5	59.8	79.9
エネルギー	46.1	52.9	53.1	86.8
生命	58.9	71.8	73.6	80.0
地球	35.9	49.0	49.5	72.5

今年度は、理科の調査も行われました。やはり全体的に全国や県の平均には及びません。本校は実験用具や学習資料等の準備をしてくださる理科支援の先生が特別に配置されています。そのため、スムーズに効率的に理科の学習が行えています。しかし、結果として表れなかったことを鑑みると、学習の展開や振り返り、習熟の仕方により一層の工夫が必要だと思われます。

全体を通して、基礎・基本的な学習事項の習熟が不十分なことが分かりました。そのため、活用問題の解決も困難となってきます。さらに、本校の課題となるのは、無解答で提出する児童が大変多いことです。今後、基礎基本の一層の定着を図る取組を充実させていくとともに、それにより自信をもって取り組むことができる児童を育てていくことが重要であると考えられます。